

## 文部科学省における令和 3 年度 EBPM 推進に向けた取組について

### 1. 予算関連事業における EBPM の取組

令和 3 年度に文部科学省で作成した予算事業のロジックモデルは 18 事業（うち新規事業 9、継続事業 9）。政府全体の中では平均的な状況である。

＜参考＞他省庁のロジックモデル作成状況

内閣府：5 公正取引委員会：9 警察庁：6 金融庁：1 消費者庁：6  
復興庁：2 総務省：7 法務省：15 外務省：6 財務省：2 厚生労働省：40  
農林水産省：118 経済産業省：16 国土交通省：10 環境省：65  
原子力規制委員会：5 防衛省：22

#### (1) 対象事業

##### i) 公開プロセスの対象事業（7 事業）

行政事業レビュー外部有識者会合において決定した公開プロセスの対象事業

##### ii) 新規 10 億円以上の事業等（11 事業（うち新規事業 9、継続事業 2））

- ①令和 4 年度概算要求を行う新規要求事業のうち、要求額が 10 億円以上の事業
- ②新規 10 億円以上の事業の該当がない局は、新規要求事業を中心に選定した事業

#### (2) 成果と課題（省内アンケート結果より）

##### 【成果】

- ①課題まで遡って論理的なつながりを確認することで、政策・事業の対象や効果を明確化するとともに、当該政策・事業の必要性やエビデンスを改めて整理する契機となった。
- ②事業の全体像や目指すべき方向性を関係部局内で共有することができた。

##### 【課題】

- ①ロジックモデルの活用機会の少なさ。
- ②測定指標・目標値の設定の難しさ。特に、定量的な指標で測ることが難しいアウトカムについて、達成状況の測定が困難。

## 2. 文部科学省における EBPM 研修

### (1) 実施実績

- i) 主に EBPM 実践担当者に向けて、政策推進室から基礎的な事項について説明するとともに、過去にロジックモデル作成経験のある職員から、取組を通じた変化や振り返りなどについて知識の共有を図った。(令和3年7月実施。約20名が受講。)
- ii) 省内職員の政策立案・EBPMの基礎知識・意義の理解を深め、EBPMの取組やロジックモデル作成に関する負担感の解消を図り、EBPMの更なる推進につなげるため、文部科学省 EBPM アドバイザーの亀井善太郎氏を講師とした EBPM 研修を実施した。(令和4年3月実施。約60名が受講。)

### (2) 振り返り

令和4年3月に実施したアンケートによれば、受講者の7割以上が研修に満足したと回答した一方、「研修時間を増やしてほしい」「実例に基づいた説明が欲しい」との声があった。また、効果検証・統計分析などを含めたより応用的な内容や、ロジックモデル作成の演習についても研修で取り扱ってほしいとのニーズが把握できた。

## 3. 令和4年度を取組方針策定について

令和4年度の基本的かつ具体的な EBPM 取組方針については、内閣官房行政改革推進本部事務局より基本的な考え方が示され次第、今年度の取組を継続することを基本としつつ、速やかに策定することとしている。